

2015年度 定例研究会

2015年度は特に、子どもの権利条約総合研究所関西事務所に加え、北海道事務所が新たに設立されたことで、定例研究会を東京・関西・北海道で開催することができました。詳細は以下の通りです。

①2015年6月27日(土) 13:30~17:30 【北海道・第1回・設立記念シンポジウム】

場所：旭川大学北辰会館2階大会議室

テーマ：子どもの声を受け止め、生かすまちづくり

～北海道の自治体で子どもの思いや願いに寄り添っていくために～

記念講演：「子ども・若者の声を教育・まちづくりへ―若者たちに寄り添う中で見えてきた子どもたちが抱える課題―」

山内 亮史（旭川大学学長、子どもの権利条約総合研究所北海道事務所顧問）

報告者：宮西 義憲（芽室町長）

品田 幸利（旭川市子育て支援部）

横石 玲奈（旭川大学学生）

指定討論：内田 信也（弁護士 NPO 法人/子どもシェルターレラピリカ 理事長）

伊藤義明（音更町立緑陽台小学校 教諭）

③2015年7月18日(土) 13:30~17:00 【関西・第1回】

場所：HRCビル4階第1研修室A

テーマ：子どもにやさしいまち(Child Friendly Cities)の確かな歩みのために

～韓国における子ども参加と自治、学校づくり・地域づくりの取り組みを通して

報告：「韓国における子どもの参加と自治を通じた学校・地域づくりの挑戦」

安ウンギョン（早稲田大学大学院博士課程）

関連報告：「ユニセフ国内委員会『子どもにやさしいまち』会議（スイス）の報告」

三上 健（日本ユニセフ協会シニアマネージャー）

「アジア子どもの権利フォーラム」の取り組み

荒牧重人（子どもの権利条約総合研究所代表）

④2015年9月5日(土) 13:30~16:30 【東京・第1回】

場所：早稲田大学文学学術院33号館16階第10会議室

テーマ：子どもの学ぶ権利行使と学習支援のあり方

～「多様な教育機会確保法」（仮称）の法制化をふまえて～

報告：「フリースクール等に関する検討会議」審議の現段階とこれから―「多様な教育機会確保法」（仮称）の制定動向をふまえて―

中村国生（「多様な学び保障法を実現する会」事務局長）

コメント：西野博之（文部科学省「フリースクール等に関する検討会議」委員、フリースペースたまりば理事長）

喜多明人（「多様な学び保障法を実現する会」共同代表/早稲田大学教授）

情報提供：韓国における多様な学びの支援システム

安ウンギョン（早稲田大学大学院）

⑤2015年12月5日（土）13：30～16：30【東京・第2回】

場所：早稲田大学文学学術院33号館3階第1会議室

テーマ：18歳選挙権の意義と課題

報告：「18歳選挙権の成立とその意義」

林 大介（模擬選挙推進ネットワーク 東洋大学助教）

「18歳選挙権と教育の課題」高橋朝子（都立戸山高校教諭）

「成人年齢をめぐる諸問題」金 亮完（山梨学院大学准教授）

「少年法の年齢引き下げをめぐる問題」佐々木光明（神戸学院大学教授）

⑥2016年1月30日（土）13:30～17:00 【関西・第2回】

場所：HRCビル4階 第1研修室A

基調報告：「子どもの権利の視点から子ども・若者の貧困どう受け止めるか」

川野 麻衣子（奈良教育大学特任講師・NPO 法人北摂こども文化協会理事）

報告：「羽曳野市での『ちるさぼの子ども食堂と子ども支援』」

仲野 浩司郎（Habikino children's support network）

「吹田市での『さたけん家での学習支援の仕組みづくり』」

水木 千代美（“さたけん家” 主宰メンバー、地域市民）

コメント：「子どもたちの生活の現実と私たちの課題」

吉田 祐一郎（四天王寺大学講師）

⑥2016年2月20日（土）13:30～16:30 【東京・第3回】

場所：早稲田大学文学学術院33号館16階第10会議室

テーマ：子どもの権利条約の実施状況はどうなっているか

～第4回・5回統合報告書の作成にむけて～

報告：「子どもの権利条約の実施状況はどうなっているか」

平野裕二（子どもの権利条約 NGO レポート連絡会議、子どもの人権連代表委員）

「第4回・5回統合政府報告書の作成に向けて」

相川 裕（日弁連・子どもの権利委員会事務局長）

⑦2016年3月5日（土）13:30～17:00 【北海道・第2回】

場所：北海学園大学6号館3階C30教室

テーマ：「北海道の子ども条例」と「子どもの相談・救済機関」の取り組み

開会挨拶：千葉卓（北海学園大学名誉教授、子どもの権利条約総合研究所北海道事務所

顧問、札幌市子どもの権利委員会委員長）

基調報告：「子ども条例に基づく子どもの相談・救済機関の役割と展望」

半田勝久（日本体育大学准教授）

シンポジウム：「子どもの SOS と相談・救済機関の取り組み」

吉川正也（弁護士、札幌市子どもアシストセンター）

内田信也（弁護士、北広島市子どもの権利救済委員会）

野中英樹（弁護士、士別市子どもの権利救済委員会）

一場順子（弁護士、世田谷区子どもの人権擁護機関「せたホッと」）

コメンテーター：吉永省三（千里金蘭大学教授）